

授業科目	生物学	担当教員	非常勤講師☆	単位数	1	時期	1年次 4月～7月
			①森岡 真也	時間数	30		
目的と目標	<p>生命とは何か、地球上の生命はいかにして誕生したのか、生命をつくる細胞の成り立ちと活動、生命が連続する仕組み、生命が環境の変化にあわせて生活する仕組みについて学習する。</p> <p>1 「生命とは何か」を理解する</p> <p>2 人間の体の成り立ち、仕組み、働きを探究する生命科学のさまざまな分野へと知識を発展させる</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 ～ 4	生命	(1)生命とは何か (2)生命の誕生 (3)生命の変遷		講義	非常勤講師 (森岡真也)		
5 ～ 8	組織と細胞	(1)生物は細胞からできている (2)細胞の一生と個体の成り立ち					
9 ～ 12	生命の連続	(1)生殖によって子孫をつくる (2)遺伝と遺伝子 (3)発生して体をつくる					
13 ～ 14	環境と動物の反応	(1)刺激の受容と反応 (2)内部環境を保つ仕組み (3)動物の行動と進化					
15	まとめ（1時間） 試験（1時間）	(1)生物学のまとめ (2)筆記試験					
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	歯科衛生学シリーズ 生物学（医歯薬出版）						
事前準備や 受講要件等							
☆担当教員 の実務経験	①獣医師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする						

授業科目	化 学	担当教員	非常勤講師	単位数	1	時 期	1年次 4月～7月
			葎谷 耕三	時間数	30		
目的と目標	<p>化学は、物質の性質、構造、変化に関する学問であるが、歯科衛生士は、まさに医療の現場で種々雑多な歯科材料などの物質を扱う立場にある。</p> <p>基本的な物質の本性を学び、「気体」、「水溶液」、「化学反応」の知識を医療や日常生活への応用に発展させ、さらに人体をはじめとした生体を形成している化学物質に関してより理解を深める。</p> <p>1 化学の基礎知識と考え方について理解する</p> <p>2 化学物質の構造、性質を理解する</p>						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	物質とは何だろう	(1)物質の分類、構造			講義	非常勤講師 (葎谷耕三)	
2		(2)原子の電子配置					
3	気体について知ろう	(3)元素の周期律					
4		(4)物質質量					
5		(5)化学結合					
6	物質が水に溶けるとは	(1)気体のルール					
7		(2)空気は何から					
8		(3)気体を使う (医療、生活への応用)					
9		(4)水溶液の濃さの表し方					
10	酸化とは、還元とは	(2)希薄水溶液の示す不思議な性質					
11		(3)身のまわりにはコロイドがいっぱい					
12	有機化合物とは何だろう	(4)酸とアルカリの水溶液					
13		(1)酸化と還元					
14		(2)金属のイオン化傾向					
15	まとめ (1時間) 試験 (1時間)	(1)化学反応では原子の組換えが起こっている					
16		(2)化学平衡って何だろう					
17		(1)有機化合物の成り立ち					
18		(2)有機化合物に名前をつける					
19		(3)同じ原子から違った構造が					
20		(4)有機化合物の反応					
21		(5)代表的な化合物と性質					
22		(6)高分子化合物					
23		(1)化学のまとめ			試験		
24		(2)筆記試験					
評価方法		筆記試験					
教科書・参考文献		歯科衛生学シリーズ 化学 (医歯薬出版)					
事前準備や 受講要件等							
☆担当教員 の実務経験							

授業科目	心理学	担当教員	非常勤講師 合掌 顕	単位数	1	時期	1年次 4月～7月
				時間数	30		
目標	人間の行動のメカニズム、心の動き、欲求について理解し、心理的な存在としての人間を理解する。 1 心理学の基礎知識について理解する 2 心と体のプロセスや背景について理解する						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	見る・聞く・感じるころ	(1)知覚成立の基礎		講義	非常勤講師 (合掌 顕)		
2		(2)知覚の体制化、諸相					
3	学ぶ・覚えるころ	(1)学習のプロセス					
		(2)記憶のメカニズム、病理とゆがみ					
4	やる気の心理	(1)動機づけと、その分類					
		(2)欲求					
5	喜怒哀楽のころ	(1)感情					
		(2)フラストレーション、ストレス					
6	その人らしさの心理	(1)パーソナリティの記述、調べ方					
		(2)パーソナリティの異常と障害					
7	かしこさの心理	(1)思考					
		(2)問題解決、創造性					
8	発達するころ (1)	(1)「発達」を考える					
		(2)発達段階と発達課題					
		(3)乳幼児期・児童期のころの発達					
9	発達するころ (2)	(1)青年期、成人期、高齢期					
10	人と関わる心理	(1)対人認知					
		(2)帰属理論					
11	人と集うころ	(1)集団の心理、リーダーシップ					
		(2)社会影響					
12	健康なころ	(1)メンタルヘルス					
		(2)心理臨床の対象、心理療法					
13	カウンセリングのころ	(1)カウンセリングとは					
		(2)カウンセリング・マインド					
		(3)介入法					
14	思いを伝え合うころ	(1)医療コミュニケーションの基礎					
		(2)コミュニケーション・スキル					
15	まとめ (1時間)	(1)心理学のまとめ					
	試験 (1時間)	(2)筆記試験		試験			
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	歯科衛生学シリーズ 心理学 (医歯薬出版)						
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験							

授業科目	コミュニケーション論	担当教員	非常勤講	単位数	1	時期	1年次 4月～6月
			古木 卓朗	時間数	15		
目的と目標	<p>お互いの気持ちを表現し理解するコミュニケーションスキルは人間関係の基礎となることから、コミュニケーションの意味を深く理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> より良い人間関係を構築するためのコミュニケーション力を身につける 言葉による意思伝達に必要な基礎知識を身につける 臨床コミュニケーションに必要な理論と技術についてふれる コミュニケーションには、他への共感・共鳴が基本にあることを認識する 						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 2 3 ～ 5 6 7 8	<p>コミュニケーションとは</p> <p>聞く力 ※「聞く」「話す」「書く」「読む」 の四つの言語行為を関連づけ、相互活動の中でそれぞれの力をたかめていく。</p> <p>話す力</p> <p>書く力</p> <p>読む力</p> <p>試験（1時間）</p>	<p>(1)コミュニケーションの基礎概念</p> <p>(2)コミュニケーション能力の高い人とは</p> <p>(3)言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション</p> <p>(1)人の話を聞き取るための方法と態度を学び、コミュニケーション能力の基礎を身につける。 ※場面に応じたメモの取り方を学び、習慣づけをはかる。</p> <p>(2)自己アピール等の演習を通して、聞き手にわかりやすく話す技術の向上をはかる。</p> <p>(3)敬語と敬意表現の基礎と応用（日常どんな場面でも使いこなせるように）</p> <p>(1)読み手を意識し、正確でわかりやすい文章を書く。（特に実験・実習に必要な記録文、報告文の書き方）</p> <p>(2)語彙力をつけるための演習プリントを課題とする</p> <p>(3)読書指導（親書本に挑戦しよう）</p> <p>(1)筆記試験</p>		<p>講義 及び 演習</p> <p>試験</p> <p>試験</p>	非常勤講師 (古木卓朗)		
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	講師の提示する資料						
事前準備や 受講要件等							
☆担当教員の 実務経験							

授業科目	芸術	担当教員	非常勤講師	単位数	1	時期	1年次 10月～11月
			浅野 菊美	時間数	15		
目的と目標	作品制作を通じて対象を多面的に観察し、表現する力を養う 1 対象を詳細に観察する観察力を養う 2 観察した結果を作品に反映させる再現力を養う 3 骨格を意識して立体物を製作することで三次元的な感覚を養う 4 限られた時間の中で作品を仕上げるための集中力を養う						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	模写・デッサン	(1)自己紹介（講師、学生） (2)二次元のデッサンとしてキャラクターの模写を行う		講義 実習	非常勤講師 (浅野菊美)		
2	人物のデッサン	(1)人物の頭部を正面、側面、斜め、 背面等からデッサン					
3 ～ 7	制作	(1)粘土制作					
8	作品評価（1時間）	(1)評価		評価			
評価方法	・デッサン、粘土作品の評価 ※講師の指導に添った作品になっていること ・授業への参加態度						
教科書・参考文献							
事前準備や 受講要件等	別途指示						
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	倫理学	担当教員	非常勤講師 渡邊 利昭	単位数	1	時期	1年次 4月～6月
				時間数	15		
目的と目標	代表的な宗教倫理、伝統的な倫理思想を学び、自己の生き方を考えるとともに、生命倫理学領域の諸問題についても理解を深め、生命の尊さや人権意識を高め、人間尊重の態度を培う。 1 倫理的判断の基礎を理解する 2 現代社会における倫理学の課題について考究する 3 専門職業人としての倫理観を培う						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	倫理学とは	(1)倫理学で何を学ぶか (2)倫理と道徳			講義	非常勤講師 (渡邊利昭)	
2	宗教と倫理	(1)仏教と倫理 (2)キリスト教と倫理 (3)イスラム教と倫理					
3	人権擁護と職業倫理	(1)マスコミと倫理					
4		(2)企業と倫理					
5		(3)公務員と倫理 (4)職業人と倫理					
6	生命倫理	(1)生命倫理とは					
7		(2)脳死・臓器移植をめぐる諸問題 (3)生殖医療をめぐる諸問題 (4)安楽死・尊厳死をめぐる諸問題 (5)内部告発について					
8	試験（1時間）	(1)筆記試験			試験		
評価方法		筆記試験					
教科書・参考文献		講師の提示する資料					
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	保健体育	担当教員	非常勤講師	単位数	1	時期	1年次 9月～12月
			梶田 徳子	時間数	30		
目的と目標	身近な競技を通してスポーツを楽しみ、心身のリフレッシュ、健康の保持増進を図る。 1 正しいルールのもとで、楽しく身体を動かすことができる 2 健康の維持増進ができる 3 集団での協調性を身につけることができる						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	集団スポーツ	(1)基礎知識		実技	非常勤講師 (梶田徳子)		
2	(バレーボール)	(2)ルールの説明					
3		(3)ゲーム					
4	集団スポーツ	(1)基礎技術					
5	(バトミントン)	(2)ルールの説明					
6		(3)ゲーム					
7	集団スポーツ	(1)基礎技術					
8	(インディアカ)	(2)ルールの説明					
9		(3)ゲーム					
10	集団スポーツ	(1)軽スポーツ					
<p>※回数の表示について 本来、90分を1回として表示するが、体育は、1回の授業が3時間分となるため、3時間(45分×3)を1回として表示してあります</p> <p>※体育館の使用可能状況により、回数等、変更の可能性もあります</p>							
評価方法	実技評価、出席状況						
教科書・参考文献							
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	情報リテラシー	担当教員	非常勤講師 深井英和	単位数	1	時期	1年次 月～月
				時間数	15		
目的と目標	<p>コンピューターの基本的な操作方法を学び、情報処理能力を養う。</p> <p>1 ワードプロソフトによる文書処理ができる</p> <p>2 表計算ソフト（エクセル）による表の計算、グラフ作成ができる</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 ～ 4	ワードプロソフト	(1)文字入力、編集、ファイルの保存 (2)表の作成 (3)文書の作成・編集 (4)図形描画機能		演習	非常勤講師 (深井英和)		
5 6	表計算ソフト	(1)エクセルの基本操作 (2)表作成 (3)グラフ作成					
7 8	まとめ 試験（1時間）	(1)復習、まとめ (1)試験					
評価方法		演習による試験					
教科書・参考文献							
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							